

街に、ルネッサンス



60年 まちと一緒にこれからも。

平成 27(2015)年 11 月 20 日

福岡大学

独立行政法人都市再生機構九州支社

福岡大学とUR都市機構が連携 ～西日本屈指の私立総合大学の力で地域を活性化～

福岡大学と独立行政法人都市再生機構九州支社（以下「UR都市機構」といいます。）は、UR賃貸住宅及びその周辺地域（以下「地域」といいます。）における今後の少子高齢社会の進行を見据えて、相互に連携・協力を図ることにより、地域住民の健康福祉の増進、持続可能なコミュニティ形成など、地域の活性化に貢献することを目的として、連携協定を締結します。

については、下記のとおり、連携協定書の調印式を行いますので、ご案内申し上げます。

記

- 日 時 平成 27 年 11 月 20 日（金） 午前 10 時 開始
- 会 場 福岡大学 地域交流サロン（60 周年記念館ヘリオスプラザ 2 階）（別添参照）
（住所：福岡市城南区七隈八丁目 19-1）
- 出席者 福岡大学 学長 衛藤 卓也
独立行政法人都市再生機構 九州支社長 内山 省吾

お問い合わせは下記へお願いします。

- 福岡大学 地域ネット推進室
（電話）092-871-6631（代）内線2040
- UR都市機構九州支社
九州支社 住宅経営部 ストック活性化チーム
（電話）092-722-1049
九州支社 総務部 総務チーム
（電話）092-722-1004

1 背景・経緯

福岡大学は、9学部 31学科、大学院 10研究科 34専攻、20の研究所と大学病院を擁する西日本屈指の私立総合大学です。本学では、総合大学としての特色を生かし、健康、医療、福祉、安心安全、経済・文化の振興、子ども育成などの多彩な分野で地域の発展や課題解決に資する取組みを積極的に展開し、地域密着・地域融合型の大学づくりを推進しています。

UR都市機構は、高齢者をはじめ多世代がいつまでも安心して、ともに生き生きと住み続けられる住まい・まちづくり（Aging in Place）を進めています。このたび、福岡大学の持つ専門知識及び活力のある学生の力を生かすことによって、地域の諸課題に対応し、その活性化に繋げていきたいと考え、福岡大学とUR都市機構は連携協定を締結することとしました。

2 連携協定の内容

- (1) 本協定は、福岡大学とUR都市機構（以下「両者」といいます。）が連携・協力して、団地における少子化・高齢化などの諸課題に対応し、地域住民の健康福祉の増進、持続可能なコミュニティ形成などを進めることにより、地域の活性化に貢献することを目的とします。
- (2) 両者は、この目的を達成するため、次に掲げる事項について連携・協力します。
 - ① 地域住民の健康維持・増進に関する事項
 - ② 高齢者支援、介護、子育て支援などの地域福祉の推進に関する事項
 - ③ 地域住民の安心・安全に関する事項
 - ④ 地域の文化・経済の振興に関する事項
 - ⑤ 学生のアクティブラーニングの推進に関する事項
 - ⑥ 地域情報の共有及び発信に関する事項
 - ⑦ その他両機関の協議により、連携による取組みが必要と認められる事項

3 福岡大学とUR都市機構の連携事例

(1) 「地域活性支援塾」による商店街の活性化の提案

平成27年5月に、地域の課題を解決し、活性化に寄与する人材育成を目的とする第6期の「地域活性支援塾」（福岡大学エクステンションセンター主催）を開設しました。商学部の村上 剛人教授とマーケティングプランナーの田坂 逸朗氏を講師に、全12回、ワークショップ形式で講義を行いました。

この講義では、UR都市機構の星の原団地（福岡市早良区）とその商店街の活性化を素材とし、団地にお住まいの方や商店会の方を迎えて現地ワークショップを3回開催、団地が抱える問題点の解決や商店街の活性化につながるアイデアについて意見交換を行い、実行可能な取組みができる場づくりを行ってきました。

このワークショップでのアイデアを元に、星の原団地の町内会と商店会の方たちが中心

となって、お住まいの方が気軽に参加できるふれあいの場を目指し、町内会と商店会が共同運営する「星の原カフェ」を10月にオープンしました。「地域活性支援塾」を受講した約10名の学生がオープン当日、現地で「星の原カフェ」運営のサポートをしました。オープン時には地域の方約60名がカフェを利用してくださり、継続してこうした場を作っていて欲しいとの要望が寄せられています。

【星の原カフェ】

所在地：福岡市早良区星の原団地 集会所

営業日等：毎月第3土曜日 午前11時～午後3時

(2) UR賃貸住宅への学生入居による地域活性化

人文学部の学生と留学生がルームシェアで堤団地（福岡市城南区）に入居し、団地自治会などと協力して地域の活動に参加します。

高齢化が進む地域の地域活動に大学生が参加することによって多世代、多文化が共生するミクストコミュニティの形成を促進するとともに、団地にお住まいの方と触れ合うことにより学生自身の成長の機会を創出します。

4 今後の取組み

- ・福岡大学が持つ専門知識や人材を生かした高齢者支援、子育て支援などの取組みについて、大学全体として総合的・横断的に取り組んでいきます。
- ・UR都市機構が学生と団地にお住まいの方の橋渡しを行い、賃貸住宅、賃貸施設、集会所などの資産を有効活用することによって、団地における多世代間の交流を活発にし、コミュニティ活動を充実させていきます。
- ・両者の連携により、健康増進、防災、地域経済の活性化、コミュニティ形成などさまざまな切り口から地域の活性化に資する活動の更なる展開を実施し、持続可能な地域づくりの実践モデルの構築を目指します。

【福岡大学の概要】（平成27年5月1日現在）

- 所在地 福岡市城南区七隈八丁目19番1号
- 学 長 衛藤 卓也
- 組 織 学 部 人文学部、法学部、経済学部、商学部、商学部第二部、
理学部、工学部、医学部、薬学部、スポーツ科学部
大学院 人文科学研究科、法学研究科、経済学研究科、商学研究科、
理学研究科、工学研究科、医学研究科、薬学研究科、
スポーツ健康科学研究科、法曹実務研究科
- 学 生 数 20,324名（学部：19,661名 大学院：663名）

【UR都市機構九州支社の概要】（平成27年3月31日現在）

- 所在地 福岡市中央区長浜二丁目2番4号
- 支社長 内山 省吾
- 管理戸数 176団地 49,529戸
- 事業概要 都市再生：民間事業者や地方公共団体と連携し、都市再生を推進
住 宅：賃貸住宅ストックを適切に維持管理し、豊かな生活空間を提供
災害復興：都市の防災機能を強化し、被災地の復興をいち早く支援
郊外環境：豊かな自然環境と安心・快適な「新・郊外居住」を推進

別添

【調印式会場のご案内】

福岡大学 地域交流サロン（60周年記念館ヘリオスプラザ2階）



※お車で越すの場合、正門横の守衛所に駐車場の利用の旨をお伝えいただき、
所定の駐車場にお停めください。
また、駐車場には台数に限りがありますので、満車の場合駐車できないこと
があります。予めご了承ください。

福岡大学と独立行政法人都市再生機構九州支社（UR都市機構）は、UR賃貸住宅団地及びその周辺地域における今後の少子高齢社会の進行を見据えて、相互に連携、協力することによって、地域住民の健康福祉の増進、持続可能なコミュニティ形成など、地域の活性化に貢献することを目的として、連携協定を締結します。



- 「地域性」と「国際性」を備えた人材の育成
- 福岡を中心とする地域の活性化と発展の促進
- 大学の研究成果を社会に広く還元



—— 街に、ルネッサンス ——



60年 まちと一緒にこれからも。

- 高齢者がいつまでも安心して、生き生きと住み続けられる住まい・まちづくり（Aging in Place）
- 子育て支援・高齢者支援を通じて、多世代が支えあうミクストコミュニティの実現

UR賃貸住宅（団地）を舞台に展開

地域コミュニティ

- 福岡大学の豊富な知的・人的資源を生かして、持続可能な地域コミュニティの形成に寄与する研究や実践活動に取り組みます。

【具体的な取組み（案）】

- ☑ 留学生と日本人学生の入居・地域参加
- ☑ 多様な世代が交流する機会や場の創出

健康・福祉

- 医学部・薬学部・スポーツ科学部・大学病院等が中心となり、超高齢社会に対応した、高齢者が生き生きと健康に暮らせる地域づくりに取り組みます。

【具体的な取組み（案）】

- ☑ 集会所を活用した健康セミナーの開催
- ☑ 高齢者が日常的に歩く環境・仕組づくり

文化・経済／安心・安全

- 総合的・領域横断的なアプローチから地域の活性化と発展に寄与する各種の教育研究プロジェクトに積極的に取り組みます。

【具体的な取組み（案）】

- ☑ 団地商店街の活性化支援
- ☑ 団地の記憶の収集・保存・活用
- ☑ 団地における防災教育の実践



1 先行取組事例 学生と地域住民の対話による団地商店街の活性化

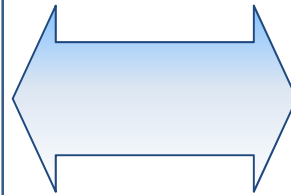
平成27年5月に第6期の「地域活性支援塾」(福岡大学エクステンションセンター主催)を開設しました。UR都市機構の星の原団地(福岡市早良区)とその商店街の活性化を目指し、団地にお住まいの方や商店会の方との現地ワークショップを重ね、団地が抱える問題点の解決策を模索し、商店街の活性化につながるアイデアを練り上げました。

これを元に、星の原団地の町内会と商店会が中心となってお住まいの方が気軽に参加できるふれあいの場「星の原カフェ」を10月にオープンしました。



「地域活性支援塾」
 商学部 村上 剛人教授

- 地域の課題を解決するプロセスを体験しながら、そのネットワーク化に必要なスキル、ファシリテーション・スキル、コーディネート力や企画力を身につける演習
- 課題発見から企画提案までの取組みを通して、地域づくりを担う人材を育成
- 「やる気」に溢れた30名の学生が参加、アイデアの実現に向け、多様な議論を展開



街に、ルネッサンス



九州支社 住宅経営部 経営チーム

60年 まちと一緒にこれからも。

- 団地にお住まいの方、商店会の方との橋渡し役となり、現地ワークショップを開催
- コミュニティ形成支援のため団地集会所を提供し、町内会と商店会が運営する「星の原カフェ」の活動を支援



現地ワークショップの様子



星の原カフェオープン時の様子



■ 星の原団地

所在地 福岡市早良区星の原団地
 交通 西鉄バス「星の原団地」バス停 徒歩1分
 管理開始 昭和47年3月
 管理戸数 2,247戸

■ 星の原カフェ

所在地 福岡市早良区星の原団地 集会所
 営業日等 毎月第3土曜日 午前11時～午後3時



☆ 地域住民とともに課題を発見、解決(地域資源の活用と連携)
 ☆ 持続可能なコミュニティの形成

☆ 商店街の活性化による地域経済の振興
 ☆ 学生のアクティブラーニングの実践

2 取組計画事例 UR賃貸住宅への学生入居による地域活性化

福岡大学の留学生と日本人学生が堤団地（福岡市城南区）にシェアリング入居し、団地自治会などと協力して地域活動に参加します。（平成28年度より実施予定）



堤団地



■ 堤団地
 所在地 福岡市城南区堤団地
 交通 西鉄バス「堤」バス停 徒歩2分
 管理開始 昭和44年12月～昭和62年6月
 管理戸数 894戸



- ☆多世代、多文化が共生する地域社会（ミクストコミュニティ）の形成
- ☆団地での“*Aging in Place*”の実現
- ☆学生と団地にお住まいの方が直接関わることによる学生自身の成長の機会創出

今後の取組み（予定）

- 福岡大学が持つ専門知識や人材を生かした高齢者支援、子育て支援などの取組みについて、**大学全体として総合的・横断的に取り組んでいきます。**
- UR都市機構が学生と団地にお住まいの方の橋渡しを行い、賃貸住宅、賃貸施設、集会所などの資産を有効活用することによって、**団地における多世代間の交流を活発にし、コミュニティ活動を充実させていきます。**
- 両者の連携により、健康増進、防災、地域経済の活性化、コミュニティ形成などさまざまな切り口から地域の活性化に資する活動の更なる展開を実施し、**持続可能な地域づくりの実践モデルの構築を目指します。**